地震 第2輯
第21巻(1968)147-150頁

旧約聖書にあらわれた 地学諸現象

1. モーセ五書

東京大学地震研究所

尾崎 郁子

佐藤 泰夫

(昭和43年5月9日受理)

Geophysical Phenomena in the Old Testament

1. The Pentateuch

Ikuko OZAKI

and

Yasuo SATO

Earthquake Research Institute

University of Tokyo

(Received May 9, 1968)

大地震が起る時、いつでも問題になるのは、同じ地域での過去の地震である。器械観測や、科学的に整理された資料があれば、これにこしたことはないが、そうしたものの得られない時には、しばしば古文書にたよりを求めることになる。ところで旧約聖書がパレスチナ地方に関する紀元前の文書として、歴史的にも信憑性の高いことは、よく認められたことである。そこで地震に関する記述を拾いあげて、見易い形の表にすることを試みたが、しかし実際に作業をしてみて、意外な困難を見出した。それは、ある記事が自然現象としての地震を記述しているか否かの判定が容易に下し得ない点である。それはこの書が、本来自然の記述のためのものでないこと、比喩的な表現が多いこと、などのためであろう。しかし、選り出されているものの中から不適当なものを捨てることはたやすいが、その逆に、採り出されていない場合、旧約聖書百数十万字を改めてしらべなおすことは、多大の時間と労力を必要とする。この事を考慮して、判定に迷うような場合には、原則として採用の側に決定することとした。

同じ理由から、この際、地震現象、地変 (S) に

かぎらず、天文、暦法 (A)、気象 (M)、火山 (V)、海洋、陸水 (W)、天災 (D)、その他 (X) に関する記事も併せて選ぶこととした。(分類のため、行の最後に上記の記号を示す。) しかし、このような方針を以てしても、なおかつ判定に苦しむことは少なからずあつた。

正確を期するため、二名が独立に、邦語現行の口語訳および以前の文語訳聖書をしらべ、更に英訳 (Authorized Version および Revised Standard Version)、その他を参考にした。ただし、本文では聖書の文は口語訳によることにし、またごく簡単な註をつけた所もある。( ) 内に書いたのは、こうした註および聖書の参考箇所である。書名は、邦語現行の引照つき聖書に用いられている略名で示したが、同一書の中では省略した。参照が過多になるのをさけるため、基本的な事項 (例えば紅海の水の分れた記事) が A に記され、更に他の箇所 A_1 , A_2 , … にも出ている時、 A_1 , A_2 , … では A を参照したが、A では A_1 , A_2 , … を参照しなかつた。同じ理由で、新約聖書の参照はほとんど行なわなかつた。聖句は重要な部分のみをしるしたので、意味のある部分も省略して “……” とした所もある。

創世記

1:1,2	神は天と地とを創造された。地は形なく…	[A]
1:3-5	神は「光あれ」と言われた。すると光があつた…	[A]
1:6-8	…神はおおぞらを造つて、おおぞらの下の水とおおぞらの上の水とを分けられた…	[A, W]
1:9,10	…「天の下の水は一つ所に集まり、かわいた地が現れよ」…	[W]
1:13	夕となり、また朝となつた…	[A]
1:14,15	…「天のおおぞらに光があつて昼と夜とを分け…地を照らす光となれ」…	[A]
1:16-19	神は二つの大きな光を造り…また星を造られた…	[A]
1:23,31	夕となり、また朝となつた…	[A]
2:1-4	天と地と、その万象とが完成した	[A]
2:5	地に雨を降らせず	[M]
2:6	地から泉がわきあがつて…	[W]

- 2:10-14 一つの川がエデンから流れ出て…〔W のぼつていた…〔D, V?
 3:8 日の涼しい風の吹くころ〔M 21:19 水の井戸のあるのを見た〔W
 4:11 この土地が口をあけて…〔S? 21:30 わたしがこの井戸を掘つた…〔W
 6:13 彼らを地とともに滅ぼそう〔D 26:15,18,19 …谷の中を掘つて…わき出る水の井戸
 6:17 地の上に洪水を送つて…〔D, M を…〔W
 7:4 四十日四十夜、地に雨を降らせて…(7: 26:21,22,25 一つの井戸を掘つた〔W
 12)〔M 26:32 掘つた井戸について…〔W
 7:6,7 洪水が地に起つた時、ノアは…〔D, M 27:28,39 天の露…を…賜わるように…〔M
 7:10 七日の後、洪水が地に起つた〔D, M 28:12 一つのはしごが地の上に立つていて、そ
 7:11,12 …雨は四十日四十夜、地に降り注いだ の頂は天に達し…〔X
 (7:4)〔M 29:2,3 一つの井戸があつて…〔W
 7:17-24 洪水は四十日のあいだ地上にあつた… 37:9 日と月と十一の星とが…〔A
 〔D, M 41:6,23,27 東風に焼けた…(ヨナ 4:8)〔M
 8:1-3 風を地の上に吹かせられたので、水は退 41:30,31 七年のききんが起り…〔D
 いた…(7:11, 出 14:21)〔M, W 41:36,47 七年のききん…七年の豊作…〔D
 8:5 水はしだいに減つて…〔M, W 41:53-57 七年の豊作が終り…〔D
 8:7-9 地の上から水がかわききるまで…〔M, W 42:5 カナンの地にききんがあつた〔D
 8:11 地から水がひいた…〔M, W 43:1 ききんは…激しかつた〔D
 8:13,14 …地は全くかわいた〔M, W 45:6,11 ききんがあつたが…〔D
 8:21 もはや二度と…地をのろはない…〔D 47:13,20 ききんが非常に激しかつたので…〔D
 8:22 地のある限り…暑さ寒さも、夏冬も、昼
 も夜もやむことはないであろう〔A, M
 9:11 …地を滅ぼす洪水は、再び起らないであ
 ろう〔D, W
 9:13-16 雲の中に、にじを置く…〔M
 9:28;10:1 洪水の後〔D
 10:25 彼の代に地の民が分れたからである(英
 訳参照。原文に“民”の字はないか?)〔S, X
 13:10 ヨルダンの低地を…見わたすと…よく潤
 つていた〔M
 14:3 シデムの谷、すなわち塩の海に(当時死
 海はなかつたか? 13:10)〔M, X
 14:10 シデムの谷にはアスファルトの穴が多か
 つた〔X
 15:12 日の入るころ、大きな…暗やみが…
 〔A, M
 15:17 暗やみになつた時、煙のたつかまど…
 〔A, M
 19:23-25 …硫黄と火とを…天からソドムとゴモラ
 の上に降らせて…〔D, V?
 19:28,29 その地の煙が、かまどの煙のように立ち
 出エジプト記
 3:2 主の使は、しばの中の炎のうちに…現わ
 れた〔V?
 4:9 ナイル川から取つた水は…血となるであ
 ろう(7:20)〔M, X
 7:17-21 …つえをあげてナイル川の水を打つと…
 血に變つた…(4:9)〔M, X
 8:2-14 …かえるは…エジプトの地をおおつた…
 〔D, M
 8:16-18 …地のちりはみな…ぶよとなつた…
 〔D, M
 8:21-24 …おびたしいあぶが…エジプトの全国
 にはいつてきて…〔D, M
 8:29,31 …あぶの群れを…取り去られたので、一
 つも残らなかつた(8:24)〔D, M
 9:3-7 最も激しい疫病をもつて…〔D
 9:9-11 …かまどのすすを取つて…まき散らした
 ので…うみの出るはれものと…〔D
 9:18-26 恐ろしく大きな雹を降らせる…〔D, M
 9:28,29 …雷はやみ、雹はもはや降らなくなり
 (9:23)〔M

9:33	雷と雹はやみ、雨は地に降らなくなつた (9:23) [M	えた… [M, S, V
10:4,5	いなごを、あなたの領土にはいらせるであらう… (10:13) [D, M	20:11 天と地と海と…を造つて (創 1:31) [A, S, W
10:13-15	…いなごは地の全面をおおつたので… [D, M	20:18 かみなりと、いなずまと…山の煙つてい るのとを… (19:16,18) [M, V
10:19	はなはだ強い西風に変らせ、いなごを吹 き上げて… (10:13) [D, M	20:21 濃い雲に近づいて (19:9) [M
10:21-23	…濃いくらやみは、エジプト全国に臨み … [M	23:28 くまばちを…つかわす [D
12:2	この月を…初めの月とし…年の正月とし なさい (新年、ネへ2:1, エス3:7) [A	24:15-17 …主の栄光は山の頂で、燃える火のよう に… [M, V
13:21,22	…昼は雲の柱、夜は火の柱が… [M, V?	31:17 天地を造り (創 1:31) [A, S, W
14:16	手を海の上にさし伸べてそれを分け… (14:21) [W	33:9 雲の柱が下つて…立つた (13:21) [M
14:19,20	…そこに雲とやみがあり… [M	34:5 雲の中にあつて下り (19:9, 民 11:25) [M
14:21-29	強い東風をもつて海を退かせ、海を陸地 とされ、水は分れた… [M, S, W	40:34-38 …昼は幕屋の上に主の雲があり、夜は雲 の中に火があつた (13:21, 民 9:15-22) [M, V
15:5	大水は彼らをおおい [W	(詩篇 78:13-50, 105:28-41 に参照個所が多い.)
15:8	…大水は海のもなかに凝り固まつた (14:21) [W	レ ビ 記
15:10	海は彼らをおおい (15:5) [W	9:24 主の前から火が出て… (10:2) [X
15:12	地は彼らをのんだ [S	10:2,6 主の前から火が出て彼らを焼き滅ぼし… [X
15:19	海の水を…流れ返らされたが… (14:28) [W	16:2 雲の中にあつて…現れる [M
15:22	シュルの荒野に入り…水を得なかつた [W	25:10-15 …その五十年目は…ヨベルの年である… [A
15:23,25	メラの水は苦くて… [W	26:4 その季節季節に、雨を…与えるであらう [M
15:27	水の泉十二…があつた (民 33:9) [W	26:19,20 天を鉄のようにし…地を青銅のように… (申 28:23) [M?
16:4	天からパンを降らせよう [M, X	26:31-35 町々を荒地とし… [A, D, M
16:10	主の栄光が雲のうちに現われていた [M	26:43 地が荒れ果てている間 (26:31) [A, X
16:13,14	…降った露がかわくと…薄いうろこのよ うなものがあつた… (16:4) [M, X	27:17,18,21,23,24 ヨベルの年 (25:10) [A
16:21	日が熱くなるとそれは溶けた (16:14) [M, X	民 数 記
17:6	岩を打ちなさい。水がそれから出て (民 20:11) [W	9:15-22 雲は幕屋をおおつた…夕には…雲は火の ように見えて… (出 13:21, 40:34, 36-38) [M
19:9	濃い雲のうちにあつて…臨む… (19:16) [M	10:11,12 雲が…のぼつたので… [M
19:16	かみなりと、いなずまと厚い雲とが、山 の上にあり [M	10:34 昼は主の雲が彼らの上にあつた [M
19:18,19	シナイ山は全山煙つた…全山はげしく震	11:1-3 主の火が…宿営の端を焼いた… [X
		11:9 夜…露がおりるとき、マナはそれと共に 降つた (出 16:13) [M, X

11:25	主は雲のうちにあつて下り (12:5, 出 34:5)	[M]	8:9	その地の石は鉄であつて…	[X]
11:31	風が起り…うずらを運んできて…	[M]	8:15	堅い岩から水を出し (出 17:6, 民 20:11)	
11:33	非常に激しい疫病をもつて…	[D]			[W]
12:5	主は雲の柱のうちにあつて下り (11:25)	[M]	9:10	山で火の中から (4:12)	[V]
12:10	雲が幕屋の上を離れ去つた時	[M]	9:15	山は火で焼けていた (4:11)	[V]
14:14	雲が、彼らの上にとどまり、昼は雲の柱のうちに、夜は… (出 13:21)	[M, V]	10:4	山で火の中から (9:10)	[V]
16:30-34	…土地が裂け、地は口を開いて…	[S]	10:7	多くの水の流れがあつた	[W]
16:35	主のもとから火が出て… (レビ 10:2)	[X]	11:4	紅海の水を…あふれさせ (出 14:27)	[W]
16:42	雲がこれをおおい… (出 40:34)	[M]	11:6	地が口を開き… (民 16:32)	[S]
20:8,11	…ついで岩を二度打つと、水がたくさんわき出たので (27:14, 出 17:6)	[W]	11:11	…雨で潤っている	[M]
21:16-18	井戸…	[W]	11:14,17	雨を…時にしたがつて降らせ… (レビ 26:4)	[M]
24:17	ヤコブから一つの星が出 (マタ 2:2, 黙 22:16)	[A]	11:21	天が地をおおう日数のように多い…	[A, X]
25:8,9	疫病が…人々に及ぶのが…	[D]	15:1,9,12	七年の終りごとに… (レビ 25:4)	[A]
26:1	疫病の後 (25:8)	[D]	18:16	この大いなる火を… (5:24)	[V]
26:10	地は口を開いて彼らとコラとをのみ… (16:32)	[S]	28:12	雨を季節にしたがつて…降らせ (11:14)	[M]
31:16	会衆のうちに疫病を起す… (25:8,9)	[D]	28:21,22	…かんばつ…をもつて	[D]
33:8	海の中をとおつて (出 14:22)	[W]	28:23	天は青銅となり… (レビ 26:19)	[X]
33:9	水の泉十二…があつた (出 15:27)	[W]	28:24	雨を、ちりとほこりに変らせ	[D, M]
36:4	ヨベルの年がきた時 (レビ 25:10)	[A]	28:27	エジプトの腫物と潰瘍…をもつて	[D]
			28:59-61	…もろもろの病気と、もろもろの災とを…	[D]
			29:20	主は…怒りとねたみを発し (文語訳および英訳参照. 文語訳は「いかりとねたみの火…燃え」)	[V, X]
申 命 記			29:22,23	…全地は硫黄となり、塩となり…	[D, X]
1:33	主は…夜は火のうちにあり、昼は雲のうちにあつて… (出 13:21)	[M, V?]	31:15	…雲の柱は幕屋の入口のかたわらにとどまつた (出 33:9)	[M]
4:11,12	山は火で焼けて、その炎は中天に達し… (出 19:18)	[V]	32:22	火は…山々の基を燃やすであらう	[X]
4:15,33	火の中から… (4:12)	[V]	32:24	熱病と悪い疫病によつて…	[D]
4:36	地上では…火を示された…	[V]	33:2	山から光を放たれ…	[A, X]
5:4	山で火の中から… (4:12)	[V]	33:13	…と露、下に横たわる淵	[M]
5:22-25	火の中、雲の中、濃い雲の中から… (出 20:18)	[M, V]	33:14	日によつて産する…月によつて生ずる…	[X]
6:11	掘り井戸を得させ	[W]	33:28	天は露をくだすであらう	[M]
7:20	くまばちを…送つて (出 23:28)	[D]			
8:7	…わき出る水の流れ、泉、および淵のあ				